

やすらぎ通信

Vol.26 平成 24 年 6 月お盆

平成 24 年 お盆

発刊不定期 横浜やすらぎの郷霊園管理事務所 〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町堀谷 1749-1
☎045-924-0210 FAX:045-924-0239 URL: y-yasuraginosato.jp Eメール: info@y-yasuraginosato.jp



***** ご案内 *****

《お盆のご供養について》

- 7月盆 7月13日(金)～7月16日(月)
- 8月盆 8月13日(月)～8月16日(木)

お盆の時期は首都圏では7月、地方では8月が主流です。やすらぎの郷のある旭区周辺では8月の方が多くようです。お盆期間のご供養については、善光寺(曹洞宗)のみとなります。

霊園でのご供養の他に、ご希望の方にはご自宅でのご供養(棚経)も承ります。

詳しくは管理事務所までお問い合わせ下さい。

◇やすらぎ寺子屋のご案内

毎月開催しています(下記予定参照) 宗派不問・費用無料 詳細はお気軽にお問合せ下さい。

- | | |
|--------------|----------------|
| 第15回 7月7日(土) | 第18回 10月14日(日) |
| 第16回 8月5日(日) | 第19回 11月10日(土) |
| 第17回 9月9日(日) | 第20回 12月8日(土) |

各回 午後2時～ 約1時間 椅子坐禅と法話など

◇やすらぎ菜園のお知らせ

じゃがいも収穫 7月6日(金)午後1時～

お手伝い頂ける方、お気軽にご連絡下さい。



◇ホームページのご案内

<http://y-yasuraginosato.jp>

横浜やすらぎの郷霊園のホームページが出来ました。お知らせや園内の花々を随時アップしたいと思います。是非ご覧下さい。ご意見・ご感想お待ちしております。

■ 葬儀相談 お葬儀のご相談を承ります。心配事・疑問がある方は、お気軽にご相談下さい。

◇時間の単位

今年は『うるう年』です。では『うるう秒』という言葉を知っていますか？

実は今年、『うるう秒』の年でもあります。数年に一度地球の自転と協定世界時間の誤差を調整するために設けられたもの。

僅か 1 秒!! 1 秒の誤差を日本時間 7 月 1 日 午前 9 時に合わせるため 100 秒前(午前 8 時 58 分 20 秒)から 0.01 秒ずつ増やしてカウントしていくのだそうです。(午前 8 時 59 分 60 秒が挿入され、次に午前 9 時 00 分 00 秒となる場合もあるそうです。)

さて、仏教では様々な表現で時間の単位を表します。諸説ありますが、代表的なものを幾つか紹介致します。聞いた事のある言葉もあると思いますよ。

刹那(せつな)……	1/75 秒	1 弾指(たんじ:指を鳴らす合図)の間に 60 刹那とも言われる
恒刹那(たんせつな)	120 刹那	1/75 秒×120=1.6 秒
臘縛(ろうばく)……	60 恒刹那	1.6 秒×60=96 秒
須臾(しゅゆ)……	30 臘縛	96 秒×30=48 分
炷(ちゆう)……	線香が燃え尽きる時間	坐禅の時間の単位 約 40 分

以上が比較的短い時間の単位。 以下はとても大きな単位となります。

恒河沙(ごうかしや)……	恒河はガンジス川。沙は砂。ガンジス川にある砂のように無数の数
那由他(なゆた)……	極めて大きな数字 10 ⁶⁰ とも言われる
劫(ごう)……	1 辺が 40 里の大岩を 100 年に一度天女が舞い降りて羽衣でなで、岩が擦り切れてなくなるまでの時間 (すごい時間!! すごい喩え!!ですね。)
大劫(たいごう)……	80 劫
阿僧祇(あそうぎ)……	10 ⁵⁹ または、10 ⁵⁶ と言われる
三阿僧祇劫(あそうぎごう)	3×10 ⁵⁹ ×劫 菩薩が如来になるまでの時間とも言われるとても我々の日常の感覚からはかけ離れた世界観・宇宙観ですね

《仏教用語が語源となっている言葉》

刹那主義(せつなしゆぎ) …	今この瞬間を充足させる事から転じて、過去や将来を考えずに今が良ければとする意味に使われている
未来永劫(みらいえいごう)	将来にわたって長い時間いつまでも続く
億劫(おっくう) ………	百千万億劫の時間。あまりに時間がながくかかってやりきれない事から、わずらわしく、面倒くさくて気が進まない様子

寿限無(じゅげむ)
 寿限無、寿限無
 五劫の擦り切れ
 海砂利水魚の
 水行末 雲来末 風来末
 食う寝る処に住む処
 やぶら小路の藪柑子
 パイポパイポ パイポのシューリンガン
 シューリンガンのシューリンダイ
 グリーンダイのポンポコピーの
 ポンポコナーの
 長久命の長助

古典的な落噺ですね。生まれた我が子に良い名前をつけてあげたいと考えた父親。お寺に行き和尚さんに縁起が良い言葉、長生き出来るようにと長い言葉を教えてもらいます。せっかちな父親は迷ったあげく、教わった言葉を全部つけてしまったという噺。その中で五劫という言葉が出てきます。劫の時間を五回も繰り返すほど長い時間。寿が限り無く続きますように。



◆お盆の迎え方 … 地域や宗派によって異なります。下記は一般的なもの。参考になさってください。

精霊棚 盆棚

盆棚の一例

真菰(マコモ)のゴザを敷いた台、もしくは白布を敷いた机などの四隅に青竹を立て、その上部に縄を張って結界とします。縄にはソーメン・ホウズキ・アワ・キキョウ・ユリ・花(みそはぎ)等を吊るします。お位牌はゴザの上に安置します。ローソク立て・香炉・花立て・お供え物なども置きます。

〈お仏壇の場合〉

盆棚を設けるスペースがない場合は、仏壇で精霊棚を兼ねます。仏壇の上部にホウズキを横向き飾り、手前にマコモのゴザを敷き供物類を供えます。簡単には、仏壇の前に机を置いて、白布を敷き、野菜やくだもの・花・団子などを供えます。



お供え物

この霊座にお花やお線香・お灯明・鬺伽水(あかみず：蓮の葉に数滴の水をたらしたものの)・盛物・果物・野菜・そうめん・餅・団子・故人の好きだった食べ物などを供えます。

また、水の子(みずのこ：洗った米に、なす・きゅうりなどを賽(さい)の目に刻んだものを混ぜて、蓮の葉の上に盛り付けたもの)も供えます。

きゅうりの馬・なすの牛

これは先祖の霊が「きゅうりの馬」に乗って一刻も早くこの世に帰り、「なすの牛」に乗ってゆっくりあの世に戻って行くようにとの願いを込めたものとされます。おがらや割り箸をさして形をつくります。

提灯 送り火 迎え火

お盆の間は精霊に自分の家を教えるために、仏壇のそばや軒先に新盆堤灯をお飾りします。以前はお墓にお迎えに来て、提灯に火をつけてそのまま行列をして家に戻ったといひます。玄関先で迎え火を焚いてその火をまたぎ一緒に家に帰ります。住宅事情もかわり、提灯を吊るしたり、迎え火を焚けないこともあるかと思いますが、家に大切なお客様をお迎えする気持ちで準備を整えたいものです。

ひたすら非難されるだけの者、ひらすら褒めそやされるだけの者は、過去にもいなかったし、未来にもいないだろう。現在にもいない。

お釈迦さまのお言葉 (ダンマパダニ二八)



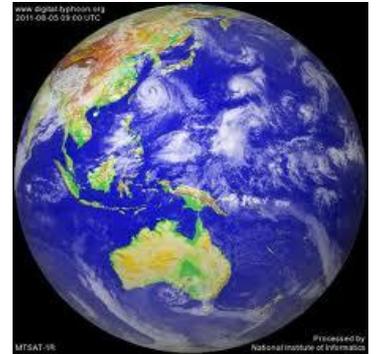
刹那(せつな)と劫(こう)



最近テレビでスーパースローカメラの映像というのを見ました。普段我々が目で見ることが出来ない瞬間の変化をスローモーションで映し出すカメラ。一瞬の間にある変化に驚かされます。

刹那とは短い時間の単位。刹那の1コマ1コマに目を向けるとそこには普段目にしているものとは違った世界が見えてきます。普段目にしている世界は実は一瞬がつなぎ合わさり出来ている世界。丹念に一瞬の一つひとつ詳細に見ていくとそれぞれ意味がある。ミクロの世界、遺伝子・DNA、原子・素粒子など科学の進歩は日進月歩。普段目にしている世界は、短い瞬間や小さい物質が集まって出来ている世界。その集まることを仏教では集諦と言ひ、またその関係性が縁起と言われます。

今年の5月には金環日食が話題になりましたが、次に日本で見る事が出来るのは何十年、何百年後とか言われると、宇宙の時間の長さやその広さ、大きさに驚かされます。



劫とは無限に長い時間の単位。長い長い時間をかけて誕生した、宇宙。そして地球。その中で生物が誕生し、そして幾つもの変化を繰り返しながら人間へと進化してきました。我々はお母さんのお腹の中で10ヶ月かけてその進化の過程を通過して誕生してくるといわれます。命そのものは脈々とつながっている。マクロの世界、大きくて高い視野。宇宙から見た地球に国境が無いように、小さな区分けに捉われて大事が見えなくなってしまう事もあります。宇宙的な視野で見たらなんて小さなことで悩んでいるのだろうと思うこともあります。

一瞬の刹那と無限の劫。その間につづいて存在している我々。

ミクロの視点とマクロの視点。それぞれを自在に使い分けて見ることができたらいいですね。

視点を変える事を「虫の目で見るとか」、「鳥の目で見るとか」と言われます。虫は低い場所から。鳥は高い空から。視点を変えると同じ事でもまったく違った景色が見えてきます。

仏さまの目には何が見えているのでしょうか？ 自在に観ることが出来る目を観自在と言います。般若心経の冒頭にてでくる観自在菩薩。その視点の自在さ、自由さをほんの少しでよいから分けて欲しいと願いつつ般若心経に親しみたいと思います。

合掌

編集後記

「亡くなった方は何処にいるの？」「四十九日までは近くにいるの？」
「あの人は家が好きだったからまだ家のどこかにいるんじゃないかしら」
「目に見えないだけで何時も近くにいるような気がします」

いろいろな方からよく聞かれます。

たとえば、この世とあの世の距離や時間が《劫》ほど離れていても手を合わせれば、
《刹那》すぐ目の前にいらっしやる。そんな気がするこの頃です。どうぞ良いお盆をお迎え下さい。

